

3年ぶりに夏イベントが帰ってきた!!

イングリッシュキャンプin茂辺地、きつずアドベンチャー2022

イングリッシュキャンプin茂辺地

この事業は、英語力の向上に特化した教育活動を行っている茂辺地小中学校を拠点に、市内の児童生徒を対象（今年は、茂辺地・石別地区以外は小学3～6年生を対象）として、楽しみながら英語に触れる機会を提供し、英語や国際交流などに興味を持ってもらうことを目的としています。

7月28日（木）に開催し、定員50名に対し、52名の応募があり、当日は45名の子どもたちがALT4名を中心としたスタッフと英語に触れる機会を楽しみながら学びました。

通常では1泊2日の日程で開催していましたが今年は午前中だけのプログラムとしたため、アイスブレイクを行った後はすぐに街探検へ出かけ、英語だけを使用して遊ぶゲーム「BINGO SMASH（ビンゴスマッシュ）」を行い、キャラクターにふんじた大人たちに授業等で覚えた英単語を駆使しながら質問をして、ビンゴを完成させるために必死で取り組む姿が印象的でした。

今年もボランティアスタッフとして参加した子どもたちからは、「ビンゴスマッシュが楽しかった」「中学生になっても参加したい」など、うれしい声が多く挙がっていました。

来年は、新型コロナウイルス感染症が収束し、少しでも活動時間を延ばし、子どもたちが、もっと英語に触れる機会を増やすことができると心より願っています。

今回の体験をきっかけに、英語に興味を持ち、グローバル化が進む現代社会の中でも活躍する人材が育つことを私たちは期待しています。



怖がらずに英語で質問中☆

ずっしーほっきーにふんじた教員も登場!!

きつずアドベンチャー2022

この事業は、北斗ロータリークラブ、陸上自衛隊函館駐屯地、函館地方隊友会、北斗市支部、函館大谷短大などの協力のもと、市内の小学4～6年生を対象に、自然活動を通して子どもたちの健全育成を図るとともに、救急法などの防災研修を通し、防災意識の向上を図ることを目的としています。

8月5日（金）に北斗市総合文化センターかなでるにて事前研修、6日（日）にきじひき高原キャンプ場にて体験活動を行いました。

事前研修の始めに北斗スポーツクラブが、アイスブレイクとしてドイツ発祥のボール運動「バルシューレ」を行いました。最初は緊張していた表情の子どもたちにも笑顔が見え始め、会話も見られるようになりました。

その後は、北斗消防署の救急隊員2名を迎えて救命講習を行い、心肺蘇生法やAEDの使用方法を真剣に学んだ子どもたちは、「命の大切さ」「救命に対する初動」を認識しました。

2日目の体験活動は、好天にも恵まれ景色の良い大自然の中で陸上自衛隊函館駐屯地第28普通科連隊によるロープ訓練や応急担架作成により協調性や連帯感を高め、普段は乗る機会がないトラックやオートバイに試乗させてもらいました。

昼食前には、焼きも作りを行い、昼食後のおやつとして自分たちで作った甘い焼きもを堪能しました。おやつを食べた後は、ドローンによる災害時の活用方法や記念撮影も行いました。

函館大谷短期大学の学生が考案したダンスパーティーでは、それぞれがオリジナルで作成したTシャツを着てダンスを楽しく披露し、幕を閉じました。

今年も、コロナ禍で宿泊を伴う事業が実施できず、さらに少人数の参加による開催となりましたが、来年は大勢の参加により盛り上がりのある事業を復活させたいので、皆さまの参加を心よりお待ちしております。



自衛隊トラックの前でパシャリ♪



ロープで救助体験!!

（社会教育課 木島 悠）